

平成 25 年度 第 11 回運営委員会議事録

- 日 時 : 平成 26 年 2 月 19 日 (水) 18:00~20:15
- 場 所 : ひらかた環境ネットワーク会議 (サプリ村野 2F 研修室)
- 出席者 : 伊丹、井上、上武、末岡、田中靖、谷口、丸井、田中晃
- 欠席者 : 鎌田、竹島、豊高
- 議 長 : 末岡 議事録作成 : 事務局
- 配布資料 :
 - ・ 第 10 回まちづくり部会議事録
 - ・ 第 11 回環境教育サポート部会議事録
 - ・ 第 10 回公共交通部会議事録
 - ・ 平成 25 年度第 3 回理事会のご案内・出欠通知書
 - ・ 中期的経営プラン(案)

1. 報告事項

(1)事務局報告

①理事会議案について

- ・ 第 3 回理事会を 2 月 24 日に開催する。
- ・ 報告事項としては、1 月末までの会計報告と今年度の主な事業報告。
- ・ 議案としては、中期的経営プラン。案を提示し、議論し、決議をとる。
- ・ 他に何か緊急議案があれば、当日、出して下さい。

②会報誌春号

- ・ 3 月末に発送し、4 月 1 日に会員に到着予定である。
- ・ 部会原稿提出締切は、2 月末である。他にも載せたいものがあれば提出していただきたい。
- ・ 環境トピックのコーナーへの情報提供がないので、事務局で作成しているが、内容について意見があれば、お願いしたい。

③地球温暖化対策推進チーム報告

○我が家のエコノート

- ・ ノートの試作を提示し、了解を得た。
- ・ 家庭での保存を考え、はさみこみの形状はやめた。
- ・ 応募は、各自郵送してもらうこととした。
- ・ 応募の動機づけのため、ポイント制の導入を検討している。

(2)部会報告

①まちづくり部会

部会長欠席のため、資料参照のこと。

②教育サポート部会

資料にもとづいて報告があった。

(主な意見)

- ・ くらわんか塾の内容決定が、3つの環境講座合同 PR に間に合うか。

- ・ 総会の時に概要を、会報誌夏号（7/1 発行）に内容をいれたい。
- ・ くらわんか塾を出前授業やS・EMSの担い手育成講座として確定されたのか。
⇒前半3回は、一般的な環境授業、後半3回を担い手育成の授業とすることは、部会の中では決まっている。
- ・ 部会議事録の「前回運営委員会議事録について」の欄をよむと、運営委員会で議論されている内容が伝わっているとは思えない。
⇒出前授業は子供を対象としたものだけではないという意見がでたということである。
⇒実際に依頼のほとんどは、学校である
⇒部会の中で出た意見をそのまま、記録しているだけである。
⇒出た意見に対して、部会として、どういう結論になったのかということまで記録しないと、部会としての決定事項が見えない。
- ・ くらわんか塾の内容が明確にならないのはなぜか。目的がしっかり理解されていないのではないか。
- ・ くらわんか塾は“環境教育の担い手を育成することが目的”であるということをしつかり軸としてとらえてほしい。従って講座では、環境教育の担い手として“最低限必要な知識”を知ってもらうこと、及び担い手として“教えるためのスキル”を身につけてもらうことを柱にしてもらいたい。
- ・ 今配られた、第一回目の授業内容は、大学の一般教養の物理学のレベルを超えている。こんなものを授業する意味がどこにあるのか。
- ・ 我々の活動は、持続可能な環境を維持するために、どうすればよいのかを多くの人に考えてもらい、少しでもできることをしていこうということである。

(まとめ)

- ・ 目的を達成するために必要な知識が何かということをしつかり絞り込んでほしい。

③公共交通部会

- ・ 4月5日（土）バス乗ってスタンプラリーを開催する。皆様のご協力をお願いします。
- ・ 枚方市駅にラッピング広告をしているので、見て下さい。

④自然エネルギー部会

- ・ 次の日曜日に協会の親子イベントで、小学校低学年におもちゃのソーラーカーを購入、寄附し、自然エネルギーがどういうものかを知ってもらうという事をする。

2. 協議事項

①エコフォーラムの振り返り

○全体

- ・ 今年は、1フロアーにまとまっていてよかった。
- ・ 昨年よりも来場者が多く、概ねよかった。
- ・ ブース間の交流が見られた。

○当日配布物

- ・ 市と当法人の当日配布物を事前に帳合しておいた方がよい

○看板・ポスター

- ・メセナの入り口に「エコフォーラム」の垂れ幕か立て看板などが必要。
- ・通りがかりの人を呼び込むためにラポールの辺り、角の不動産屋や、枚方市駅に看板やポスターが設置できるとよい。
- ・2階のエレベーターの前にもメイン看板が必要。
→看板・張り紙などは、事前に提案し許可をもらう必要がある。

○1Fフロアの活用

- ・1階でも上でエコフォーラムが行われていることがわかるようなこと、例えばビラ配りなどができればよい。
→公共スペースなので難しい。

○役割分担

- ・前回の運営委員会で、部会毎に役割を明確にしたので、今年は、皆がよく動いてくださり、スムーズに行えた。
- ・エコフォーラムの担い手が運営委員会であるという認識を再確認できた。

○受付

- ・鍵の管理は、休憩室のみでないと難しい。

○試食

- ・カレー容器の上に、グリコ提供のカレーであることがわかる紙をはさめばよかった。

○ブース出展者の感想

- ・売る声人・・・他のイベントと比べ、来場者の意識が高くよかった。
- ・竹取物語・・・午後の来場者も多く、クラフト参加者が多くよかった。

○節電表彰式

- ・せっかく来て頂いているのだから、表彰式は、もう少し丁寧に行う方がよかった。
- ・市長との2ショット写真は喜ばれる。写真は、その場で渡せるようにする。

○ネットワークブース展示

- ・場所が2か所に分かれていたので、人が多く必要であった。
→事前に知らせていたので、人を増やす方法を考えるべきであった。

○パネルディスカッション

- ・パネルディスカッションの内容がロビーでもわかるように音声や映像を流せないか。
→ブースの方にとっては、迷惑かもしれない。
→こちらで、音量調整ができない。
- ・後半、後ろに人がたくさん立っていたのは、よくなかった。
→最初に椅子を置いておくと、前に詰めて座っていただけでない。後半のお客様は、そのあとの授賞式の方なので、その方達をどう誘導するかが課題である。

○次年度の会場・開催時期・内容について

- ・来年、メセナを全館借り切るのは難しい。
→2階と休憩室・予備室1つでよい。あとは、机と椅子が借りられればよい。
→全館借りなければ、パネルの搬出時のエレベーターの使用ができないのではないか。
- ・パネルの運搬は、危険が多く、できれば止めたい。

→ダスキンなどレンタル業者の利用を検討する。

- ・サブリ村野で行ったらどうか。

→ここでは、人が集まらない。広く一般の方に来てもらうには、ここでは難しい。

→真冬に体育館に暖房が入らないので、難しい。

→開催を秋にすればどうか。⇒秋は学校行事が多く難しい。

- ・もっとお祭りにすればよいのではないか。

→お祭りに来た人は、展示を見ない。お祭りに終始すれば、エコフォーラムの意味がない。エコフォーラムの目的や位置づけは揺るぎないものでなければならない。

○その他

- ・ビスコ缶は、会員拡大キャンペーンの特典とするなど、もっと有効活用できたのではないか。

② 会員拡大について

- ・エコフォーラムを会員拡大のための重要な機会であるということを明確に位置付けた方がよい。
- ・イベント時に入会キャンペーンなどを行い、入会特典をつける。
- ・イベント参加費を会員価格と一般価格の2重にできないか
→補助事業では難しいかもしれない。説明のつく範囲がどこまでか整理して返す。
- ・他市の似た団体がどういう取り組みをしているか知りたいので、豊中市市民会議と交流会ができるよう取り計らってほしい。
→検討する（環境総務）
- ・バスのってスタンプラリーの天野川ブースで会報誌や今後活動予定などを配り、会員勧誘を行いたい。
→早急に検討する。
- ・賛助会員の会費を 1000 円に値下げすることを検討している。定款の変更が必要なので次の総会で議決事項としたいがどうか。
→賛助会員が 6～7 人では寂しい。会員数を増やす方法として有効であると思う。
- ・認定NPOの取得を検討してはどうか。
→認定NPOとなるために2年間で会員外の人から 100 人以上 30 万円以上の寄付を集めなければならない。また、寄付は継続の担保が難しいため、会員を増やし、安定した会費収入を増やす方がよい。一人が年間一人でも声をかける方がいいのではないか。
- ・賛助会員と正会員の違いは何か。
→賛助会員は議決権がないだけである。賛助会員は、活動はできないが活動の趣旨に賛同して金銭的支援を行うという位置づけである。

<次回運営委員会>

日 時：3月18日（火） 18：00～

場 所：ひらかた環境ネットワーク会議 研修室